

2024年度事業報告書

1. ひかりプロジェクトの組織運営

2024年度はこれまでの運営体制を見直し、以下の体制で取り組んだ。また、各理事は具体的な業務を担当し、方針や企画を立てる際は個人作業とせず、チームで行うこととした。

- 災害ボランティア委員会:全理事・監事により大規模自然災害発生時のHPAとしての対応を決定する。
- 活動委員会:自然災害の被災者支援活動、防災教育活動、ひかり新聞・ホームページ等の広報活動の企画運営を主体に行う。
- 事務局会議:新たに事務局長を置き、事務局機能の維持運営、特に会員拡大、財政健全化、情報の電子化に主体的に取り組む。

災害ボランティア委員会は役員全員参加で運営されるが、残り2つの組織体は毎月の運営会議に先立ってのそれぞれのメンバーが実務打ち合わせ等で機能を果たした。

2. 事業内容

(1)自然災害被災者支援活動

1)大規模自然災害発生時の対応

① ボランティア活動

《ボランティア委員会の開催》

1月1日に発生した令和6年能登半島地震に対し、1月4日に第1回ボランティア委員会を開催し、まず被災者支援募金の開始を決定。それ以降、毎月の運営会議あるいは緊急で委員会を開催しており、12月末までに13回開催した。

《ボランティア活動の開始》

4月23日に拠点の開所式を行い、石川県災害対策ボランティア本部にそれぞれ個人登録し、各市町の社会福祉協議会が主催する活動に参加することとした。HPAは主に拠点からのアクセスを考え、七尾市、内灘町で活動することを決めた。7月末までの災害廃棄物処理に関する活動実績は実働で39日、延べ51名。

《ボランティア活動の展開》

七尾市中島の小牧集会所に拠点を置く「被災地NGO協働センター」とのつながりができ、被災地NGO協働センターに参加申し込みをすることで周辺の市民から要請のある片付け等の支援や小牧集会所を利用した寄り添い支援など様々な活動ができるようになった。

《豪雨災害ボランティア》

9月21日の輪島市、珠洲市、能登町で発生した豪雨災害に対して、主に「被災地NGO協働センター」が輪島市内で行う活動に参加。10月から12月の参加者は22日、延べ44名となった。(10月=8日、延べ12名/11月=5日、延べ15名/12月=9日、延べ17名)

《さらなるボランティア活動の展開(寄り添い支援)》

仮設住宅での寄り添い支援実績は以下の通り。

・「笑って、歌って、お茶会」

9月28日(土)	七尾市中島町小牧集会所	参加者 15名 スタッフ 8名	アマチュアの落語家による落語と歌集をもとにしたの歌の会、お茶会。
9月29日(日)	志賀町とき第4仮設団地(防災センター)	参加者 17名 スタッフ 8名	

・「おしゃべりサロンとマッサージ」

11月18日(月)	志賀町とき第4仮設団地(防災センター)	参加者 18名 スタッフ 7名	参加者の皆さんでお茶を飲みながらの懇談と希望者へのマッサージとマジックショー。
11月19日(火)	内灘町宮坂公民館	参加者 20名 スタッフ 7名	

・「クリスマスリース作り」ワークショップ

11月26日(火)	内灘町向栗崎公民館	参加者 14名 スタッフ 9名	クリスマス用リースを皆で懇談しながらそれぞれが制作した。
-----------	-----------	--------------------	------------------------------

4月から12月末までに、現地でのボランティア活動、調査、視察、拠点整備等で参加したボランティアは延べ221名、活動日106日(降雨・降雪等による活動中止は含まず)になる。

②能登半島地震被災者支援募金

1月のボランティア委員会での決定を経て、1月6日に会員や支援者に呼び掛けて支援募金を開始した。12月末時点の募金額、並びに支出額は下記のとおりである。

募金額 2,350,450円(個人98名、団体19団体)

支出額 1,018,561円

繰越額 1,331,889円

2)水害被災者に対するタオルの備蓄と支援

①タオルの2次保管場所を2か所追加

②清掃用タオルの提供状況

2024年度清掃用タオルの提供数 合計 3,617枚(14団体、2個人)

③清掃用タオルの支援状況

2024年度は、4団体に合計1,000枚の清掃用タオルを支援した。

支援県	石川県	秋田県	秋田県	山形県	合計
支援先	七尾市災害VC	由利本荘市社協	にかほ市社協	酒田市災害VC	
支援数量	500枚	200枚	100枚	200枚	1,000枚

(略式表記)VC:ボランティアセンター、社協:社会福祉協議会

3)自然災害情報連絡員制度の充実

①情報連絡員を対象としたブラッシュアップ研修

情報連絡員の活動に必要な災害・防災情報の活用力向上を目的とした情報連絡員ブラッシュアップ研修を年2回実施した。

- ・第7回ブラッシュアップ研修 6月2日 参加者7名。
- ・第8回ブラッシュアップ研修 12月4日 参加者8名。

②災害情報連絡員に向けた災害情報、防災関連情報の発信

2024年度は能登半島地震による被災者支援「共同プロジェクト」の動向、現地での支援活動の状況。8月8日日向灘でM7.1の地震が発生。今回はじめて発表された「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」などをFacebookで発信して防災意識の向上を図った。

4)他団体の活動支援

4月3日、熊本県益城町の「スマイル子ども食堂」が熊本地震追悼行事に際して行った行事に対して支援した。また、12月のスマイル子ども食堂クリスマス会にも同様の支援を行った。

(2)防災教育活動

1)防災講座の拡充

①防災講座の展開

2024年度は、関係者の地道な広報活動もあり、目標「3か所以上開催する」に対して、5回開催することができた(東北1回、関東3回、関西1回)。参加者総数は、年間で161名。

[防災出前講座開催概要]

	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
開催日	6月16日	9月15日	10月12日	10月26日	12月7日
会場	東京都文京区	和歌山城ホール	山形県天童市	さいたま市浦和区	神奈川近代文学館
参加者数	29名	68名	26名	23名	15名
講座テーマ	地震から身を守る				

2)防災講座全般のカリキュラム整備

- ・2023年度に検討した防災講座で実績のある項目と『防災士教本』(日本防災士機構)の項目との比較を、今後の防災講座充実化のための参考にできるような形で整理した。
- ・2024年度実施した防災出前講座の内容を吟味し、アップデートする必要がある項目や今後追加したい内容を整理した。

(3)組織基盤の充実

1月より「能登半島地震被災者支援募金」をスタートさせ、多くの募金が寄せられた。これに伴い、通常の「ひかり募金」の収入は減額したが、主たる支援活動の費用を「支援募金」から賄えたこと、また新たに講座協力金を新設したことにより、2024年度の単年度収支は赤字にならず、財政健全化に向けての一步となった。

1)事務局機能の維持運営

事務局機能を強化するために新たに事務局長を置き、事務局会議の定例化として1月より月1回事務局会議を開催し、事務局業務の確認や運営会議での課題について話し合った。

2)会員拡大

2024年度の会員動向:2024年度入会者=正会員3名、賛助会員4名、退会者=4名。会員種別変更1名(正会員から賛助会員へ)となり、会員数は、正会員71名、賛助会員45名、計

116 名となった。

3) 広報活動

①「ひかり新聞」による発信：年 3 回の発行

49号 4.10 発行

50号 6.30 発行

51号 12.20 発行

②ホームページによる発信

③Facebook による情報発信

「(一社)ひかりプロジェクト[会員専用]」にて、HPAの活動の予告、報告等の情報発信を行っている。

4) 情報の電子化の取組み

懸案であったデータ保存とデータ共有のための「情報の電子化」について、管理対象にする資料を明確にすると共に、種々のシステムを調査した。HPAの組織規模に適正なツールとして「NAS」の導入を決定し、2025 年度から管理データの保存と共有化を行う。

(4) その他

こども食堂に関して、青少年育成活動への支援事業として掲げ、東京都台東区に現状をヒアリングしたが、それ以上の進展はなかった。

3. 会議開催状況

名 称	期 日	場 所・方 法	出席者数
	[議題]		
第 31 回 理事会	1月23日	ZoomによるWeb会議方式	理事 7 名、監事 1 名
	[議決事項] 2023 年度事業報告承認の件、2023 年度貸借対照表及び損益計算書承認の件、任期満了に伴う役員改選及び理事・監事候補者承認の件、2024 年度一般会計収支予算書変更承認の件		
第 8 回 定時総会	3月3日	金光教西近畿教務センター会議室 及び ZoomによるWeb会議併用	正会員 14 名、オブザーバ ー 4 名(委任状提出 43 名)
	[報告事項] 2023 年度事業報告の件、2024 年度事業計画書並びに収支予算書の件、令和6年能登半島地震への支援取組みについて		
	[議決事項] 2023 年度貸借対照表及び損益計算書承認の件、任期満了に伴う役員改選及び理事・監事承認の件		
第 32 回 理事会	3月3日	金光教西近畿教務センター会議室 及びZoomによるWeb会議併用	理事 7 名、監事 1 名
	[議決事項] 理事長、副理事長、専務理事の選出、新入会員承認並びに退会 会員報告の件		
第 33 回 理事会	7月10日	ZoomによるWeb会議方式	理事 8 名、監事 1 名
	[議決事項] 新入会員承認並びに退会会員報告の件		
	[報告事項] 2024 年度事業計画の中間報告、代表理事・執行理事の職務執行 報告		
第 34 回 理事会	12月25日	ZoomによるWeb会議方式	理事 9 名、監事 1 名
	[議決事項] 2025 年度事業計画書・収支予算書承認の件、第 9 回定時総会 開催の招集承認の件、新入会員承認の件、自然災害被災者支援		

	特別会計設置承認の件、旅費交通費支払規程の改訂承認の件 [報告事項] 代表理事・執行理事の職務執行報告(2024年6月～2024年11月)
運営会議	1月より12月までZoomによるWeb会議を計13回、 「対面」による会議を1回開催。
活動委員会	1月より12月まで「Zoom」によるWeb会議を計12回開催。
事務局会議	1月より12月まで「Zoom」によるWeb会議を計12回開催。

4. 会員の状況

◇2024年度に入退会した会員数

	入会			退会			変更		
	個人	団体	合計	個人	団体	合計	個人	団体	合計
正会員	3	0	3	1	0	1	0	-1	-1
賛助会員	4	0	4	3	0	3	0	1	1
合計	7	0	7	4	0	4	0	0	0

◇会員数(2024年12月31日現在)

	個人	団体	合計
正会員	66	5	71
賛助会員	40	5	45
合計	106	10	116